

高信頼性ICタグ

現場のデータは無線で

人類がプラントと呼ばれる大規模製造工場を建設してから1世紀以上経っています。多くのメーカーがその建設に関わってきて人類の生活水準の向上に大きく貢献してきました。

プラントの自動操業もコンピュータの進歩とともに発展してきました。歴史的にはセンサや制御信号はすべて有線で行われてきています。一方、すでに出来上がったプラントのデータを後付けで有線で収集することは制約が多く、また信頼性的にも好まれません。

現場の保守管理の効率を上げたい、正確性を向上したいという潜在的な要求があります。(株)R&Vの「光り玉」はそのために生まれてきたと言っても過言ではありません。

配線のお化けから、これからは現場のデータは無線でとりたいものです。必ずスマートな答えを用意している、そんな夢をお届けしたい夢の宅配会社が(株)R&Vです。